

第2回新たな「国土のグランドデザイン」構築に関する有識者懇談会における主な意見

○冒頭、寺島委員より資料3、東海旅客鉄道(株)葛西会長より資料4について説明。

(日本海国土軸と日本海相互の連携について)

- ・ 日本海側の各地域がアジアのダイナミズムと向き合うことが必要であり、環日本の時代となっている。広い意味でのユーラシアダイナミズムと向き合っていかなければいけない。日本海を内海とし、ユーラシアとの相関の中でこの国が作り上げられてきたという歴史を踏まえれば、21世紀をにらんだときに、太平洋側を重視しながらも、日本海側の連携をどういうふうにしていくのが鍵となる。

(企業の立場から見た北極海航路、シベリア鉄道活用の可能性について)

- ・ シベリア鉄道は大変魅力的。現在、欧州に部品や車を運ぶ試験を実施しているが、予定どおりに到着しない等のリスクもあり、実現には至っていない。シベリア鉄道を使用すれば、現在の3分の1、5分の1程度のリードタイムで物が届く可能性がある。そうなると、日本海側の港を使うことが考えられるが、生産拠点が集中する太平洋側から、日本海側の港まで運ぶ国内の輸送費用も考慮する必要がある。今後道路整備や、例えば高速道路をもっと安く利用できるような環境が整備されれば、日本海側を中心とし、シベリア鉄道等多面的に利用した物流が可能になり、いろんな産業にとって大変いいことだと思う。

(リニア中央新幹線のルート設定における震災対応力の考慮と名古屋～大阪間の開業前倒しについて)

- ・ 地震に対する抵抗力は、地表を走るより地下を走るほうが強い。リニアは、東京、神奈川、愛知は大深度地下、それ以外は、ほとんど山岳トンネルとなるがこれも地震に対する抵抗力は強い。

ルート設定にあたっては、東京と名古屋を最短で結ぶこととした。東海道新幹線とリニアで二重系化することにより、大動脈が途切れることはないという体制をより強化することができる。

関西のほうにできるだけ早く延ばすべきではないかというのは、これは極めて自然な考え。JR東海が自己負担で事業を実施するということを前提に、基本計画路線であったものを整備計画路線に格上げした経緯があり、我々はこれから、東京～名古屋間を建設するが、その建設費について政府に支援して欲しいと申し上げるつもりはない。東京～名古屋間は、一部未来のキャッシュフローと引き替えに建設することとなり、大阪延伸は、名古屋開業後、相当期間養生し、財務基盤を整えた後にスタートすることとなる。資金的な余裕があれば、名古屋～大阪間も東京～名古屋間と平行または雁行して建設することが望ましいと思うが、整備計画路線格上げの経緯もあり、当社から国に建設費の支援について言える立場にはない。ただ、大阪までの早期開業が望まれるということは、当然かつ自然なことだと思う。

(リニア開通を見据えた名古屋を中心とする地域の今後のビジョンについて)

- ・ ストロー効果で、ますます東京方面に人が引きつけられ、名古屋が空洞化するのではないかという議論も一つの仮説としてはあり得ると思うが、知恵を出し、構想力のあるプロジェクトを展開できる地域は、人を引きつけ、空洞化していかないだろう。愛知・東海地区については、例えば中型ジェット旅客機の国産化(MR-J)のよう

なプロジェクトが、ポスト自動車の産業としてすごく重要になってくると思う。今350機のオファーを受けているが、もし1,000機ぐらいのオファーを受けて、アジア大動時代のLCCを支えていくようなプロジェクトになれば、愛知・東海の経済産業基盤というのは、日本の中でも非常に強くなる。シアトルがボーイングというキーワードのもとに人が吸い寄せられているように、行かねばならないという人をどれだけ引きつけるかが重要。

観光立国についても、物見遊山の観光ではすぐに飽きてしまうが、例えばパリのように国際機関や国際的に重要な会議等、いろいろな情報の力によって人を引きつける装置を持っていることが重要。そういう装置をどうつくるかが知恵比べであり、アジア太平洋の時代の情報の集約点をどこがどういう形でつくっていくのかを考えることが必要。

- 東京、名古屋、大阪に新幹線の与えた影響を見ると、大阪はほとんど本社を東京に移したが、名古屋はほとんど移してないと思う。東京～大阪は3時間、名古屋が2時間。2時間と3時間の間に、ストロー力（注）が働くかあまり働かないかの差があるのではないか。

予測は困難であるが、東京～名古屋間が40分になり、時間距離的に見ると一つの圏域にいるのと同じことになる。東京～大阪間も、リニアと新幹線を乗り継げば約1時間40分であり、2時間を切る。おそらく今までの傾向から考えると、名古屋や大阪にとっては遠心力が働くよりは求心力が働くという形になるのではないかと推測している。

(リニアを利用する客層について)

- なかなか予測しづらいが、東京～大阪間というものの価値が上がり、どのような形の東京～大阪間ベルト地帯になるかによって、利用者も変わってくるのではないか。また、人口減少社会において、十分に需要が確保できるのかという議論もあるが、人口が増加するアジアにおける社会構造は非平等的な貧富の差の大きい仕組みになっていることから、社会的に見ると不安定化する可能性があり、治安がよく、生活インフラが整っている東京～大阪間の地域には、外国人が大勢入ってくる可能性がある。日本で人口減少の影響を一番受けないのが東京、名古屋、大阪、横浜といったところであり、外国人がずいぶん増える可能性も含め、需要も予測を超えたものになるのではないか。

(東京から大阪までのメガリージョンが持つ役割について)

- 相模原から品川や相模原から甲府までが10分、甲府や飯田が1時間圏となると、ライフスタイルはものすごい勢いで変わる。通勤圏というだけではなく、例えば、定年退職した世代が、田舎に移り住むわけではないが、都会に住みながら、月に1週間とか10日とか、農業生産法人の経理担当とか、マーケティング、マーチャンダイジング担当として貢献する、参画するというプラットフォームが見えてくれば、物見遊山の観光ではなく、生産的に意味のある形で動くという人たちが、このリニアを軸にして何か見えてくる。

企業は3.11以降データセンターを分散するという行動に出ているが、例えば首都機能の一部を名古屋と東京の間に配置していったならば、国土強靱化の観点からも有効な考え方が次々と出てくるのではないか。

また、地方の広域ブロックについても東京に人口が集中するトレンドの中、やはり食や農というものを軸としたしっかりした構想が必要。

今後、圏央道や外環道、北陸新幹線が整備され、リニア開業が14年後に迫ってくるなど、ものすごい勢いで基盤インフラが変化していく中で、どういう構想でプロジェクトを描くかが、今度の国土のグランドデザインの有識者懇談会にとって大変重要なテーマ。

(リニアの料金と外国人観光客等の対応について)

- 東京～名古屋間の同じルートにおいて、超電導リニアと在来型新幹線で建設コストを比べた場合、リニアのほうが約2割高い。しかし、東海道新幹線とリニアは一元経営をするため、運賃・料金に大きな差を設けることなく、どちらも比較的自由に、行く場所により、また時間帯により、目的により選択することができるという形にした。外国人への対応としては、英語による表記をして、日本語と英語のどちらかを知っていれば旅ができるようにしていくことが必要。

(ネットワークにおける民の活用、魅力ある地域づくりについて)

- 国土のグランドデザインを考えるときに、JR東海のように、自力でやると言っているようなところを増やさなければならない。国としては、それをどうルール化するかというところが大きなポイント。国が全てを出来るわけではないのだから、利益の出るところは民間会社にお任せし、国は全体の戦略的なデザインを描くことが必要。また、東京、名古屋、大阪以外の地域をどうデザインするかということが非常に重要であり、もっと議論する必要がある。ネットワークというのはノードをつなぐものであるが、一つ一つのノードをもっと魅力あるものにしていく必要がある。少子化・高齢化がどんどん進み、財政制約もある中で、メリハリをつけることが非常に重要。そのメリハリをどういう優先順位でつけるのかという議論をする必要がある。50年後を考えると、やはりコンパクトシティが重要であるし、例えばヨーロッパのように、ブランド戦略で国全体を動かしていくような、日本の国土ブランドを確立していく戦略を考えていく必要がある。都市を成長させるという話だけではなく、畳む都市、そういう議論をしていく必要がある。

(3環状の整備が国土に与える影響について)

- 来年いよいよ圏央道が東名高速の厚木と八王子がつながる。このことが日本の産業立地とか物流を劇的に変える可能性があり、相当戦略的に調べておく必要がある。例えば山梨県ではリニアが通るが、今まで産業立地論から言うと、中央高速が小仏トンネルで常に混んでおり、太平洋側の港に運び出すにもめどが立たないということで山梨県は避ける傾向にあった。しかし、中央高速の八王子と圏央道で新潟に抜ける関越道が繋がったことだけでも、日本海側に運び出すにも戦略的に有利だと山梨県の評価が劇的に変わってきた。さらに、圏央道が動くことにより、大変なステージに入ってきた。外環道がつながり、東京がクモの巣のようにネットワーク型でつながるが、この道路が日本をどう変えるのか。産業立地も観光も物流も、このことだけでも大きく変わるだろうということについて、相当視界に入れておかないといけない。国交省のほうで、このことについては、みんなが共有できる情報を提供していただきたい。

以上